

大館市立扇田病院
医事会計システム等購入

仕様書

令和7年10月20日

大館市立扇田病院

1. 事業概要

(1) 事業名称

大館市立扇田病院 医事会計システム等購入

- ・ 医事会計システム 一式
- ・ POS レジシステム 一式
- ・ 栄養管理システム 一式

(2) 事業の目的

大館市立扇田病院で平成27年6月から稼働している医事会計システムは、ハードウェアの保守及びソフトウェアの提供が終了しているものため、適正な患者情報の管理を継続して行う上で支障を来す恐れがあることから、医事会計システム等を更新し、利用環境の向上を目指すものである。

経営環境や医療政策、また技術的動向の変化の中で、当院が地域住民において求められる役割を今後も果たしてゆくためにも、医事会計システム等を更新し、更なる医療安全対策、災害（障害）対策及び患者サービスの向上、セキュリティの強化、業務の効率化及び操作性の改善等に資することを目的とするものである。

(3) 医療情報システム更新の基本方針

ア 「理念」及び「基本方針」の実現

- ・ 当院の掲げる「理念」及び「基本方針」を実現するためのツールとなり得ること。

イ 医療安全の向上

- ・ 様々なチェック機能の実装など、医療安全に寄与するシステム更新を目指す。

ウ 災害対策の向上

- ・ 災害時の業務継続を目指す。

エ セキュリティの向上

- ・ 情報漏えいや個人情報保護意識の高まりに対応するべく、クライアント端末OS及びウイルス対策ソフトの最新化、データの持ち出し、持ち込み管理を強化し、セキュリティ対策の向上を図る。
- ・ 厚生労働省、経済産業省、総務省、内閣府、関連団体等が公表した保健医療分野、情報技術等に関する法令・方針・施策・ガイドライン等について内容や動向を正しく理解し、本事業に適用する。

オ 患者サービスの向上

- ・ 外来患者に対し、待ち時間の軽減を図る。

カ 業務の効率化（標準化）

- ・ 豊富な導入実績を持つパッケージシステムによる安定稼働を目指す。
- ・ 現場業務の負荷を軽減するべく、操作性の良い、レスポンスの早いシステムを構築する。

キ コストの削減・収益改善

- ・ 当院の病床規模・機能に応じたシステム構成を検討することで、適正で効率的なシステム投資を図る。

- ・未収金の予防、算定漏れの防止に資するシステム更新により、医業収益の改善を図る。

ク 柔軟性・拡張性

- ・マイナンバーカード及び医療等 I D の利用拡大に伴い必要となる仕組みに対応する。
- ・拡張性の高いパッケージベースのシステムの採用により、診療報酬改定や医療法等改正へ迅速かつ確実に対応し、また医療政策や地域の医療ニーズの変化への対応が容易なシステムとする。

ケ 情報の二次利用

- ・過去データの確実な保全と継続したデータの利活用を図る。
- ・患者データや経営情報（日々の診療で発生するデータ）を蓄積し、データ検索や集計・加工を容易にする。また、有効活用することで、業務改善や医療の質の向上に役立てる。

（４）医事会計システム等更新スケジュール

- ・2026 年 3 月に確実に稼動するシステムであること

（５）医事会計システム等の保守

- ・導入後の保守契約は別途行う
- ・ソフトウェアメンテナンス要員は当院から概ね 150 分以内の場所に事務所を構えていること
- ・ハードウェアメンテナンス要員は当院から概ね 120 分以内の場所に事務所を構えていること

（６）付帯作業概要

システムを構成する機器の更新、これらに付随する導入作業を行うこと。

ア 運用及び詳細設計

システム導入に伴い、必要となる運用及び詳細設計は、受注者がリーダーシップをとり当院と協議しながら進めること。

イ システム導入作業及びデータ移行作業

システムの導入作業、関係システムとの接続及び現在運用中のシステムからのデータ移行作業を実施すること。なお、当該作業は、当院の業務停止を最小限に抑え適切に行うこと。

（環境更新・システム設定・ソフトウェア導入、設定・各種テスト・データ移行・機器設置・機器撤去・その他附帯する業務）

ウ 操作研修

仕様書に記載された内容に基づき、稼動後の運用に支障をきたさないよう、操作研修等の利用者教育を行うこと。また、システム管理に必要な基礎知識、操作方法、障害時の一次対応方法等の十分な教育及び訓練を行うとともに、関連するマニュアル等を整備提供すること。

エ 運用周知、運用マニュアル作成

運用及び詳細設計で決定した内容を、運用マニュアルとして整理するとともに、当院内への周知を支援すること。

（７）その他

ア 使用する言語について

- （ア） 当院への成果品を始めとしたすべての提出物、及び会話・文書・メール等すべてのコミュニケーションは日本語を用いること。
- （イ） 本調達に従事する者は、日本語による通訳等を介さないで意思疎通が可能であり、当院の意思を正確に把握可能であること。

イ 受注後の留意事項

- （ア） 法令を遵守し、当院にとって最適なシステムとなるようシステム導入を行うこと。また、必要な事項については積極的な提案を当院に対し行うこと。
- （イ） 本調達において、仕様書の指示事項その他の必要要件について当院と十分協議を行うとともに当院の指示に従うこと。また、作業内容等について疑義が生じた場合には、速やかに当院と協議の上対応すること。
 - ・ 本システムが稼働した後に、本調達に含まれるシステム及び成果物等に瑕疵が見つかった場合は、当院が承認した事項についても、受注者は速やかに当院の指示に基づき瑕疵の修正を行うこと。なお、同修正作業に要する費用はすべて受注者の負担によるものとする。
 - ・ 納品後であっても、当院の問い合わせ等に応じること。
 - ・ 導入に当たり必要と認められるものについては、仕様書に明記が無い事項であっても調達物品に含めること。

2. 大館市立扇田病院の概要

（１）理念と基本方針

ア 理念

地域の皆様の「心の支えとなる」病院をめざします

イ 基本方針

- （ア） 地域の皆様の健康と福祉の増進に貢献します
- （イ） 地域の皆様の健康な生活を支える役割を果たします
- （ウ） 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します
- （エ） 地域の医療機関との連携を保ち、信頼される医療活動に努めます

（２）概要

施設名：大館市立扇田病院

開設者：大館市長 石田 健佑

管理者：吉原 秀一

院長：大本 直樹

所在地：秋田県大館市秋田県大館市比内町扇田字本道端 7-1

標榜科目：5 科（内訳）内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科（休診中）、眼科（休診中）

病床数：許可病床数 40 床